

2023年(令和5年)

3月1日発行

発行者：県立加茂高等学校 PTA

編集：広報部

*6ページ目は定時制のページです。



QRコードから加茂高のホームページを閲覧できます。



美しい
逆境が
人に与えら
ゆること

「シェークスピアの言葉」
2年4組 郷 美桜姫

ご卒業おめでとうございます



副会長 松田 美江子

「笑いの効果」

人は笑うと、幸せホルモンとも呼ばれるセロトーフ、ドーパミンなどの心と身体に良い脳内物質が分泌され、逆にストレスホルモンは抑制されるそうです。また、笑うことで

- ① 注意力・集中力・記憶力などの脳のパフォーマンスが上がりります。

- ② リラックス・ストレス軽減などの心の健康に効果があります。社会生活において、第一印象が良くなり、ビジネスもうまくいき人間関係が向上します。

- ③ 免疫力が活性化し、血圧が低下し肉体の健康が向上して寿命が伸びます。

笑っているだけでのこのような効果があるそうです。また、気持ちも前向きになり、思いやりや気配りも生まれます。

みなさんいつも笑顔で生活していますか？これから少し意識をして「笑い」を増やしてみませんか。

満面の笑みで新年度をスタートしましょう。



1年を振り返って

PTA会長 長尾 陽一郎

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、お子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。

今年度は、ウイズコロナが大きく進んだ一年となりました。

PTA活動では、三年ぶりに講演会を開催するなど、役員と先生方で準備を進めていき、多くの活動を実施することができました。

学校行事においても、感染対策をしながらではあります、が、体育祭や文化祭、芸術鑑賞会のほか、校外研修や修学旅行等を実施することができました。特に修学旅行は、高校生活のほとんどをコロナ禍の影響を受けた三年生にとって、本当に大切な思い出になったと思います。また、伝統行事である加茂高祭では、練習から運営まで生徒たちが主体となって取り組むことができました。開催にあたり経験が少ない中での活動は大変だったと思いますが、得るものも大きかったです。

この一年を振り返り、生徒たちが様々な活動に対し、苦労しながらも協力して取り組む姿は本当に輝いており、改めて人と



の関わりは大切だと感じました。人間関係は煩わしいこともあります。ですが、人は誰かの役に立つていることでポジティブになり、チャレンジすることに繋がります。たとえ失敗しても耐える力となり、やり続けることで失敗は失敗ではなくなり良い経験になると思います。高校生活で多くのことを経験することは、急速に変化するこれから時代に對応する礎になると思います。

最後になりますが、井藤校長に拝見、次のステージでも生かしてほしいと願っています。

今年度の三年生は高校生活の全てをこのコロナ禍の中で過ごしてきましたことになります。入学式後の約二ヶ月にわたる休校、ほぼ何も行事のない一年を経て、二年次には先輩と共に行事を乗り上げて加茂高の伝統を引き継ぎ、三年次には学業はもとより、リーダーシップを發揮して各種行事を成功に導き、校内外を問うて素晴らしい活躍をしてくれました。

今年度の三年生は高校生活の全てをこのコロナ禍の中で過ごしてきましたことになります。入学式後の約二ヶ月にわたる休校、ほぼ何も行事のない一年を経て、二年次には先輩と共に行事を乗り上げて加茂高の伝統を引き継ぎ、三年次には学業はもとより、リーダーシップを発揮して各種行事を成功に導き、校内外を問うて素晴らしい活躍をしてくれました。

今年度の三年生は高校生活の全てをこのコロナ禍の中で過ごしてきましたことになります。入学式後の約二ヶ月にわたる休校、ほぼ何も行事のない一年を経て、二年次には先輩と共に行事を乗り上げて加茂高の伝統を引き継ぎ、三年次には学業はもとより、リーダーシップを発揮して各種行事を成功に導き、校内外を問うて素晴らしい活躍をしてくれました。



何のために学ぶのか

校長 井藤 勝夫

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。また、これまで本校にお寄せいただいた温かいご支援、ご協力に心からお礼申し上げます。

新型コロナが確認され、から3年以上が経ちました。長期化するコロナ禍の学校では、感染防止を徹底しながらICTも活用して授業や行事を行うなど、校内での感染拡大防止と学びの継続の両立に努めてきました。

今年度の三年生は高校生活の全てをこのコロナ禍の中で過ごしてきましたことになります。入学式後の約二ヶ月にわたる休校、ほぼ何も行事のない一年を経て、二年次には先輩と共に行事を乗り上げて加茂高の伝統を引き継ぎ、三年次には学業はもとより、リーダーシップを発揮して各種行事を成功に導き、校内外を問うて素晴らしい活躍をしてくれました。

今年度の三年生は高校生活の全てをこのコロナ禍の中で過ごしてきましたことになります。入学式後の約二ヶ月にわたる休校、ほぼ何も行事のない一年を経て、二年次には先輩と共に行事を乗り上げて加茂高の伝統を引き継ぎ、三年次には学業はもとより、リーダーシップを発揮して各種行事を成功に導き、校内外を問うて素晴らしい活躍をしてくれました。

今年度の三年生は高校生活の全てをこのコロナ禍の中で過ごしてきましたことになります。入学式後の約二ヶ月にわたる休校、ほぼ何も行事のない一年を経て、二年次には先輩と共に行事を乗り上げて加茂高の伝統を引き継ぎ、三年次には学業はもとより、リーダーシップを発揮して各種行事を成功に導き、校内外を問うて素晴らしい活躍をしてくれました。

と「将来の選択肢を広げるため」を答えたことが多かつたような気がします。確かにこの答えは間違いではありませんが、最近、特にコロナ禍になつてから、次のようによく考えます。

高校時代の勉強はいかに間違えずに正しい答えを素早くたどり着くか、ということが重視される傾向がありました。しかし、社会に出ると、自ら課題を発見し、対処していくことが求められます。その時力を發揮するには、基礎基本をしっかりと身につけていること、自ら課題を発見し、協働して解決していく経験が必要となります。だからこそ、教科においても知識一辺倒ではなく、考え方、討論し、発表する機会が増えていましたし、地域課題解決学習をはじめ探究的な活動が取り入れられているのです。

そのような学びを通して得られた力は、進学や就職に發揮されるだけでなく、豊かな人生を送る礎となるものと考えます。

卒業生の皆さんは変化が激しく予測困難な社会へ旅立つことになりますが、加茂高で培った力と文武両道の精神を忘れず、豊かな人生を歩んでいってほしいと思います。

「何のために学ぶのか」という問いに対してもどのように答えるか。教員生活を振り返ってみる

MSリーダーズ活動報告

生徒指導主事 酒井 宏昌

第30号

可茂地区 生徒指導ニュース

加茂高校 MSL朝の あいさつ運動

日時：10月14日(金)7:50～8:05
参加者：2年生 10名、教員3名、新任教員1名

内容：生徒たちが自転車の安全走行、さわやかな挨拶や制服着こなしなどを啓発するポスターが校内各所に掲示されました。

MSリーダーズポスター制作

MSリーダーズが自ら考え、デザインしたポスターを制作しました。自転車の安全走行、さわやかな挨拶や制服着こなしなどを啓発するポスターが校内各所に掲示されました。

今年度は昨年度以上に活動が活発になりました。地域の方との協力や他校との連携などを図りながら、より一層の活動の充実を目指していきたいと思います。

今年度は昨年度以上に活動が活発になりました。地域の方との協力や他校との連携などを図りながら、より一層の活動の充実を目指していきたいと思います。

本年度のMSリーダーズはコロナ禍での行動制限の緩和に伴い、活動範囲を広げ、生徒が安心安全で明るい学校生活を送るために様々な活動を行いました。

学問に王道なし

進路指導主事

山中 徹也

それ以上に友達や先輩たちと過ごした毎日が充実していて、加茂高で本当に良かったです」と。この言葉は一人一人が自分の将来をしっかりと見据え、自己実現の欲求を強く持ち、加茂高での生活を送ってきたことを再認識させてくれるものでした。

このように三年生は、早くから進学目標を掲げ、地道な努力を重ねてきました。受験結果に関わらず、どの生徒も自己実現にむけて最大限努力できたのではないかと思います。この経験は、この先の人生でも「There is no royal road to learning (学問に王道なし)」の思いを持ち、学び続け、実社会での活躍へと繋げてくれるものと信じています。

そして、この伝統を引き継ぐ一・二年生の後輩達も多くいることに期待が膨らみます。

三年生から後輩へのメッセージ

推薦入試で私大や国公立大の合格をもらつ

ても「共通テスト」に向けて日々の努力を怠ることなく続けていく精神や同じ土俵で戦う仲間の存在が大切だと思いました。大学が決まっていいる人もそうでない人も皆で個々のモチベーションを上げていきました。私の場合、一般入試の壁を乗り越えてくる「強者たち」と肩を並べてこれから学ぶことになるわけですから、正直今でも怖い思いがあります。ですが、今まで頑張ってきたことを糧に胸を張つて前へ進みたいです。勉強をして自分をもつともっと強くしていってください！苦手を無視しないように！



理数科課題研究報告会

11月15日

美濃加茂市東図書館

いことが多くて大変でした。しかし、

次はどうすれば

まくいくのかを考

えながら取り組み

ました。結果をま

とめて、考察を考

えている時間がと

ても楽しく、班で

まとまって進めることがわくわくす

るものだということを知りました。

野外での調査で今まで知らなかつ

た地域の植生や、湿地という場所が

どういう様子なのかを体験すること

ができる面白かったです。



課題研究報告会

二年生のある教室の後ろに一年間「There is no royal road to learning」という目標が掲げてありました。自分の可能性を広げ、伸ばす場として一人一人が進路先選び、そこに向けてひたむきに努力する姿が、様々な場所で見られました。黙々と學習に向かっている自習室、仲間同士で教えあったり、先生を質問攻めにしたりして職員室前の長机、友人同士で面接練習をする教室などなど。

巷には様々な情報が溢れ、ともすれば楽な道があるよう感じてしまうこともあるかもしません。しかし、ひたむきに努力をする3年生を見てみると、「学問に王道なし」という言葉に強い真実を感じます。

三年生の高校生活は、コロナ禍の中で始まりました。行事もなくなり、やつとの思いで実現した体育祭も制限されるなど、楽しみの少ない高校生活ではなかつたかと感じることもあります。そんな中でも三年生は早くから進路実現に向けて行動し、夏休み中から課題研究や総合探求の成果をまとめて総合型選抜に臨みました。学校推薦型選抜では、志望理由書を何度も書き直し、また、小論文試験で問題提起や解決策を提言できるよう図書館に通いました。

大学入学共通テストには約9割の生徒が出願しました。難しいテストでしたが、学年全体で学習マードを維持し、健康管理に努めて最後までやり切りました。その後の二次特編授業では熱のこもつた演習が展開されました。受験を終えた三年生に加茂高での三年間にについて聞いたとき、こんな答えが返つてきました。「入学した時に期待した行事は無くなつて寂しい気持ちになつたこともありましたか、

視しないように！」

この活動を通して、自主的に探究する力、コミュニケーション能力、表現力などを伸ばしていくたはずです。

(生徒の感想)

この活動を通して、データの見方、研究結果からいえることを考える力をつけることができました。また、発表を繰り返すことでの意見を言う力も身につけることができました。

・貝殻の法則性

この活動を通して、データの見方、研究結果からいえることを考える力をつけることができました。また、発表を繰り返すことでの意見を言う力も身につけることができました。

・シデコブシの保全について

この活動を通して、データの見方、研究結果からいえることを考える力をつけることができました。また、発表を繰り返すことでの意見を言う力も身につけることができました。

・白川町にて発生したバックウォーターフェノ

この活動を通して、データの見方、研究結果からいえることを考える力をつけることができました。また、発表を繰り返すことでの意見を言う力も身につけることができました。

・日本の重心

この活動を通して、データの見方、研究結果からいえることを考える力をつけることができました。また、発表を繰り返すことでの意見を言う力も身につけることができました。

・植物の酸性雨による影響

この活動を通して、データの見方、研究結果からいえることを考える力をつけることができました。また、発表を繰り返すことでの意見を言う力も身につけることができました。

・線虫のライフサイクルおよびマリーゴールドが線虫に与える影響

この活動を通して、データの見方、研究結果からいえることを考える力をつけることができました。また、発表を繰り返すことでの意見を言う力も身につけることができました。

・ペットボトルロケットの飛距離

この活動を通して、データの見方、研究結果からいえることを考える力をつけることができました。また、発表を繰り返すことでの意見を言う力も身につけることができました。

・プラズマ処理によるプラスチックの親水性の変化

この活動を通して、データの見方、研究結果からいえることを考える力をつけることができました。また、発表を繰り返すことでの意見を言う力も身につけることができました。







加茂高





◎ いよいよ定時制の「一周年」です。

4年生が卒業を控え、今の気持ちを
「川柳」で表しました。

- ・数学を がんばりました 楽しかった
- ・悔しい日 でも懸命に 取り組めた
- ・メッシ儀 四年に一度 漂出る
- ・ベンきょうが たいへんだつた 四ねんかん
- ・数学の 合格めざして がんばつた
- ・しきみ あとすこしだよ がんばろう
- ・僕の宝 友達といだす すひび
- ・四年間 思つたよりも 短いな
- ・四年間 色々あつた つかれたよ
- ・卒業の 前夜に流す 涙かな
- ・高校の 卒業あとは おたのしみ
- ・文化祭 なりひびいたよ 不協和音
- ・青春の 思い出残る 四年間
- ・四年間 もうすぐおわりだ がんばろう
- ・けっこんの おしゃらせ知つた ぶんかさい
- ・よねんかん すこしたひびを わすれない
- ・宝物 みんなと過ごした 四年間
- ・赤点を 取らすにこれた 「ほうびは…」
- ・桜咲く 季節に始まり 共に終わる
- ・もどりたい 修学旅行 たのしかつた
- ・つらいこと 楽しい時も おわりだね
- ・今までの してきた進歩 いかします
- ・別れなり ながき時過ごし 学びやよ
- ・別れの日 桜まいちる やよいなり
- ・きづいたら あつというまに 四ねんかん
- ・最後の日 みんな笑顔で さようなら

定時制課程のホームページ
こちらからご覧いただけます。



職員より卒業生に向けての メッセージを贈ります。

鏡開き（1月10日）

三学期始業式の日にぜんざいを生徒全員でいただきました。新型コロナウイルスの影響で、しばらく実施できなかった時間が続いているましたが、感染対策をきちんとおこなった上で久しぶりに実施することができました。今年も無事に過ごせますようにとの思いを込めて準備しました。焼きたてのお餅を入れ、おいしくいただきました。

卒業おめでとう。加茂高で学んだことを礎に、素敵な人生の物語を紡いでいてください。（井藤）
卒業おめでとうございます。大いなる希望を静かに燃やし、逞しい人生を！（大島）

大変なときは大きく変わるチャンスです。努力を重ねて素敵な大人になってね。」（高瀬）

及時当勉励、歳月不待人。今までの努力、これからも続けてください。（田口）

卒業する皆さんのが将来が幸せいっぱいでありますように。（矢野）

卒業おめでとう。社会人としての自覚や責任のある大人になってください。（武藤）

卒業おめでとうございます。誇り高き明日を勝ち取るため、戦い続けてください。（塚田）

きのうの敵は、きょうの友は、古いコトバがあるけど、きょうの友は、あしたも友だちそう永遠に。」（箕浦）

卒業おめでとうまずは健康第一で頑張ってください。（渡辺）

Rejoice always! Alegre-se sempre!
いつも笑顔で。また会いましょう。（中家）

笑顔を忘れず、未来にはばだけ!!（尾関）

」卒業おめでとう」ございます。今までの経験を基に、自分自身で判断し、自信と責任をもつてこれから的人生を歩んで下さい。（田端）

苦しい時こそ笑顔を忘れず、日々を丁寧に生きていいましょう！卒業おめでとう。（佐藤）

「できない理由を探すな」（間田）

Be responsible, think positive and always be grateful. 卒業おめでとう。（星野）

Life is not COLORFULLife is COLORING.（ベクシカ）

卒業おめでとう。新しい環境でじきじきするけど自分のベースで！（高井）



球技大会（1月20日）

○○ボウルにて、冬季球技大会が行われました。四年生にとつては最後の球技大会となりましたが、どのグループも最高の笑顔が見られ、卒業前に素晴らしい思い出を作ることができました。他の学年でも、この一年で培われた団結力が見られ、競技だけでなく後片付けなどを協力して行う姿が見られました。





3年生修学旅行

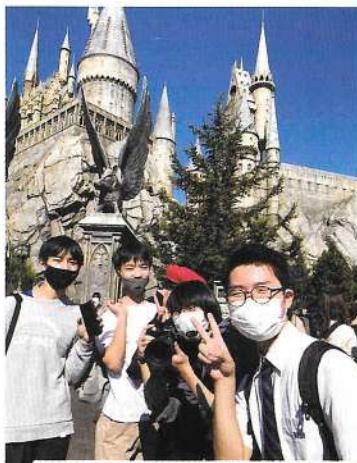
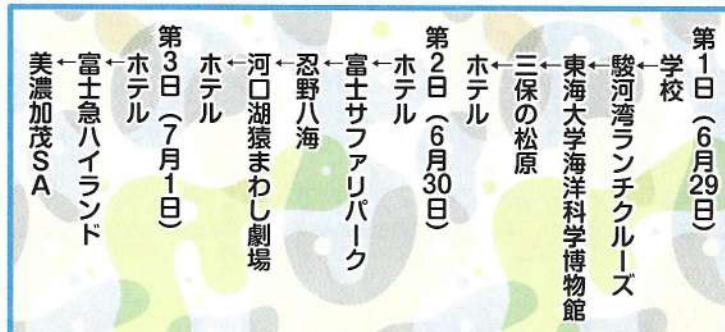
新型コロナウイルスの関係で、研修場所の北九州から静岡方面への変更や、日程の度重なる延期もありました。一時は中止も危ぶまれましたが、本年度、ようやく実施することができました。保護者の皆様には、その都度、対応していただき改めてお礼申し上げます。

修学旅行の3日間は、富士山を見ることができるほど、天候に恵まれました。また、普段なかなか見ることのない絶景や猿回しなどの芸能に触れることができました。さらに3日目には、富士急ハイランドで友達との親交を深めることができ、笑顔あふれる3日間となりました。

変更や延期はありましたが、修学旅行でしか学べないことや経験をすることができて、高校生活の良き思い出を作ることができた修学旅行となりました。

修学旅行の3日間は、富士山を見ることができるほど、天候に恵まれました。また、普段なかなか見ることのない絶景や猿回しなどの芸能に触れることができました。さらに3日目には、富士急ハイランドで友達との親交を深めることができ、笑顔あふれる3日間となりました。

変更や延期はありましたが、修学旅行でしか学べないことや経験をすることができて、高校生活の良き思い出を作ることができた修学旅行となりました。

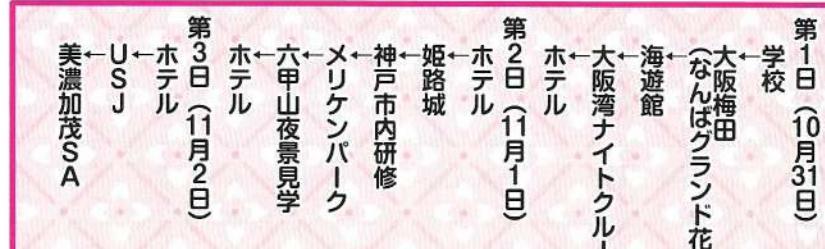


2年生修学旅行

は、当初は九州北部地域を回る行程を予定していました。しかし、新型コロナウィルスの感染状況から判断して関西方面への行程と変更になりました。変更の決定が九月となり準備期間が短く大変ではありました。が、班別研修の計画や神戸淡路大震災の事前学習など生徒は前向きでスマーズに進めることができました。

当曰は一日目に小雨が降った程度で天候にも恵まれ、大きな事故もなく無事に帰つてくることができました。二日目のUSJは11月とは思えない汗ばむ陽気でした。

学校を離れて仲間と過ごす時間は大変貴重であると感じた三日間でした。また政府の旅行支援の恩恵にもあずかり、大変有意義な旅行となりました。



編集後記

加茂高だより159号をお届けします。

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。何気ない日常も、行事などの非日常も、加茂高校で過ごした日々は、きっとこれから的人生の糧となるでしょう。情報溢れる今だからこそ、どんなときも自分自身を大切に生きてください。何かと人と比較しがちな私たちですが、比較するのは他人ではなく、過去の自分でありたいと思います。新しいステージでも頑張つてください。応援しています。

今年度はたくさんの行事が開催され、広報としてもやりがいのあった一年でした。ご協力いただいた全ての方にこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

(広報部長 石原 久子)